

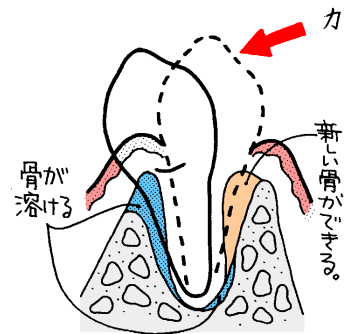
40代からの矯正

成人でも矯正できます。

しこんまく
不思議な歯根膜の性質を利用して

矯正治療では、歯根膜のこの性質を利用して動かしたい方向に意図的に力を加えて歯の位置を変えます。歯根膜が活着している限りいつでも矯正ができるというわけです。

歯とアゴの骨の間には「歯根膜」とよばれる部分があります。歯に横向きの力を加えると、この歯根膜が引っ張られてのび、骨との間にできた隙間に新しい骨が作られます。歯が傾いてきた側では、歯根膜の力が弱まり、加えた力の衝撃で骨が溶けてゆきます。こうして歯は少しずつ動きます。



口の中のバランスを回復する 40代からの矯正

40代は歯周病と歯間にムシ歯が発生しやすい要注意世代。子育てと働き盛りの忙しさに、歯と口の健康をつい忘れがちです。気づいたときには病気が進行し、口の中はガタガタになって噛み合わせのバランスが崩れています。

このような方は、失った歯を補うふつうの治療だけでは足りません。口の中のバランスを回復することが先決です。倒れたり、ねじれたりした歯を矯正で正常な状態に動かし、新しくしっかりした噛み合わせを作ります。その上で適切な修復物を入れ、お口の健康を完成させます。

「矯正 = 審美」ではありません。成人矯正は、口全体の健康を目指した総合的治療の一部として行われるものです。

成功の鍵はプラークコントロール

歯に強制的な力をかけると、周りの組織はいたみます。矯正具をつけると、歯周病の原因となるプラークはますますとりにくくなります。矯正では、歯周病を悪化させる条件が重なります。

歯周病世代の矯正は、プラークを管理し歯ぐきを健康に保つことが成功の秘訣です。最後まで気を抜かずにプラークコントロールを実行し、一緒に良い結果に結びつけましょう。